

令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	看護過程Ⅱ	科目区分	専門分野Ⅰ	授業の方法	講義・演習
対象学年	2学年	単位(時間)	1(30)	開講時期	2年前期
担当教員：加藤 利江 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/>					
看護師としての実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を想定し、講義を行っている。					
《科目目標》 看護過程を展開するための基礎的な知識として、アセスメント、問題の明確化(看護診断)、計画立案、実施、評価のそれぞれの方法と一連の流れを理解する。また、事例を用いた看護過程を展開し、アセスメントから計画立案の方法・記録方法について学ぶ。					
《成績評価の方法》 課題の評価表(ループリック)に基づき評価する。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 ① 看護がみえる Vol. 4 看護過程の展開 MEDIC MEDIA ② 看護診断ハンドブック第11版 リンダ J. カルペニート著 医学書院 ③ ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 メディカ出版					
《授業外における学習方法》 事前学習、課題学習を行う。					
《履修に当たっての留意点》 クリアファイル (A4 40 ポケット)1冊 (できれば横入タイプ) を準備する。					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	事例1の疾患を調べ、共同問題を考える			講義
2	2	情報収集・アセスメントの視点(NANDAの領域：13領域とは)			講義
3	2	事例1の情報収集アセスメントから仮診断を導く：領域1・2・3			講義
4	2	：領域4・5			講義
5	2	：領域6・7・8・9			講義
6	2	：領域10・11・12・13			講義
7	2	事例1の全体像を描き、看護診断を実施し、優先順位をつける			講義
8	2	事例1のフォーカスアセスメントをし、期待される成果、看護計画を立案する			講義
9	2	事例2の疾患を調べ、共同問題を考える			講義
10	2	事例2の仮診断をグループで考え発表する：領域1・2・3・4			演習
11	2	：領域5・6・7・8			演習
12	2	：領域9・10・11・12・13			演習
13	2	事例2の全体像・フォーカスアセスメント・期待される成果と看護計画			講義
14	2	事例2における看護記録 SOAP の書き方			講義
15	2	看護過程の評価の視点			講義